

名作再読、拾い読み (16)

『ジョヴァンニの部屋』 "Giovanni's Room"

小澤 文彦

ジェイムズ・ボールドウィン (James [Arthur] Baldwin, 1924-1987) はアメリカの小説家・劇作家・詩人・随筆家・公民権運動家です。ニューヨークの黒人街ハーレムに生まれ、実の父親は誰か分からず、母親の再婚した説教師デイヴィッドに育てられました。同じ説教師の道を歩ませようとする義父に反発して、14歳の時に一旦は始めた説教師の仕事も17歳の時に放棄して家出します。高校を卒業するとグリニッジ・ヴィレッジに移り、文学の修行に専念します。24歳の時にパリへ行き、その後ヨーロッパに長期間滞在しますが、アメリカに戻ってからは積極的に公民権運動に関わるようになります。

彼が最初に発表した長編小説『山にのぼりて告げよ』(1953)は自伝的な内容を持っていました。2年後に発表した随筆集『アメリカの息子のノート』(1955)で、彼はリチャード・ライトのような「抗議小説」を批判して黒人の持つ被害者意識からの脱却を求めていきます。人種差別問題の解決には性の抑圧からの解放と黒人としての自己のアイデンティティの確立が必要という立場から小説『ジョヴァンニの部屋』(1956)と『もう一つの国』(1962)という実験小説を発表しました。その後も小説では『汽車はいつ出たか』(1968)、『ビール・ストリートに口あらば』(1974)、『わたしの頭上に』(1979)を発表し、随筆集では、『次は火だ』(1968)、『巷に名もなく』(1972)、『見ていない事実の確認』(1985)、『切符の代価』(1985)を発表しています。

晩年は海外で過ごすことが多くなりましたが、1987年、サン・ポール・ド・ヴァンスで食道癌のために亡くなります。63歳でした。

今回は『ジョヴァンニの部屋』を紹介します。同性愛を扱っていて大いに話題となりましたが、他者に対する責任や罪の意識を問題にしています。

アメリカ人青年のデイヴィッドは自分探しのためにパリへ留学します。そこで芸術家志望のアメリカ人女性ヘラに出会い、結婚したいと思うのですが、彼女は気持ちを整理するためにスペイン旅行に出かけ、返事はパリへ帰って来てからということになります。その間に、部屋代が払えなくなったデイヴィッドは裕福なジャックに借金を申し込み、彼に案内されてギョームの経営するゲイ・バーへ飲みに行きます。そこには、皆が注目しているバーテンダーのジョヴァンニがいました。その晩、デイヴィッドはジョヴァンニに誘われて彼の部屋へ泊まり、そこに同居することになります。ジョヴァンニは家族

と共に葡萄畑で働いていたのですが、赤子が死産したため悲しみと怒りから村を飛び出してパリへ出て来たイタリア人です。困っている時にギョームに拾われてゲイの世界を知り、彼の店で働き始めたところです。デイヴィッドは同居しているうちに、自分がジョヴァンニに愛されていることを負担に感じ始めます。一方、ジョヴァンニは、デイヴィッドに嫉妬したギョームに店を解雇され、気持ちが荒んでいきます。デイヴィッドは、ヘラがスペインから戻って来た時、ジョヴァンニに黙って彼の部屋を立ち去りました。ジョヴァンニは絶望してジャックに助けを求め、その後精神的に追い詰められてギョームを殺してしまいます。デイヴィッドは自責の念に駆られ、結婚して子供を産みたいと哀願するヘラを振り切って別れを告げます。ジョヴァンニに対する罪の意識からヘラの愛情を素直に受け入れることができず、故国を離れて自由を得る代わりに孤独に陥り、そこでもがき苦しむデイヴィッドに救いは殆どありません。

60年代から70年代にかけてアメリカ社会は激しく揺れ動いていました。彼の作品を理解するには、この当時の時代背景を知ることが必要です。

1963年8月28日にはマーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師の歴史に残る名演説"I have a dream"が行われました。ボールドウィンはこの時、キング牧師と共にワシントン大行進を行っています。1963年11月22日にケネディ大統領が暗殺されます。その後を引き継いだジョンソン大統領によって1964年7月2日に公民権法が制定されますが、その後も人種差別は解消されず、黒人に対する暴力や殺人事件が続きます。1965年2月21日にはマルコムXが暗殺され、1968年4月4日にはキング牧師が暗殺されました。ベトナム戦争で混乱したアメリカ国内情勢の影響もあって、非暴力主義は否定され、SNCCやブラックパンサー党などの過激派による闘争が激化し、1970年代中頃まで暴力主義路線が続きます。ボールドウィンの作品からは、彼がこのような状況下で心に抱いていた怒りや悲しみが切々と伝わってきます。

参考文献

1. James Baldwin "Giovanni's room" (Rinsen Book, 1986)
2. ジェイムズ・ボールドウィン著；大橋吉之輔訳『ジョヴァンニの部屋』(白水社、1964)

おざわ ふみひこ (係・情報サービス課)